

PRIDE 誇れる自分 誇れる仲間 笑顔あふれる学校

「自律」について考える



先週は、新入生歓迎会、避難訓練、交通安全教室とたくさんの行事がありました。新入生歓迎会には出張のため参加できませんでしたが、生徒会を中心に大変すばらしい会だったと先生方からお聞きしました。また、出張から帰ってきた後、生徒会長の堀田陽向さんから花束を手渡してもらい、感激するとともに参加できなかったことへの残念な気持ちが強くなりました。

さて、これからの学校づくりの中で、キーワードの一つとしたいことが、「**生徒の生徒による生徒のための学校**」です。これは、第16代アメリカ合衆国大統領のリンカーンが演説で述べた「人民の人民による人民のための政治」になぞっているのですが、学校の主役は生徒であることを強調していきたいと考え、キーワードとしました。これまで学校は、校則を「教師が話し合い、決めて、生徒に守らせる」というのが当たり前になってきてしまったように感じます。それは、どの学校でも目指している「生徒主体」ということから、大きくかけ離れていると思います。生徒の皆さんは、これまでどうでしたか？学校のきまりをつくったり守ったりすることを先生に委ねすぎていませんか？それとも、校則ってそういうもんだと思い込んでいませんか？自分たちのきまりなんだからで、自分たちで考え、つくり、守っていくということが、学校教育目標の「自律」につながっていくのではないのでしょうか。私は、そのように考えています。根本先生にはお願いしてあるのですが、今後の生徒会の活躍に期待します。

また、「あの先生の授業はつまらない」とか「先生の教え方が悪いから成績が下がった」などと感じたことのある人はいませんか？これは「自律」できていない人の考え方です。なぜなら、自分の人生を他人に委ねてしまっているからです。とは言え、中学生は、まだ発達段階にあるので、先生の影響を完全には否定できませんが…。

教育の最終目標は、「人格の完成」です。しかし、58歳の私ですらまだまだ人格の完成には程遠い状態です。また、「自律」できているかと問われても、家庭のことの多くを妻に委ねており、まだまだ達成できない状況です。そこで、北中生の皆さんとともに、最終目標である「人格の完成」と学校教育目標である「自律」に向けて、どうしたら近づくことができるかについて共に考えていきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお祈ひします。



新入生歓迎会での一コマ



交通安全教室